

循環型農業への挑戦！

～捨てるから活かすへ、私たちの一步～

福島県立ふたば未来学園高等学校 3年 櫛田 梨乃

目的・背景

本校は今年、創立10周年を迎えた。開校当初本校には圃場はなく、開校にあわせてもともと耕作に適している土地ではなかった山野を開墾して圃場を作った。毎年土壌改良しているものの、次のような課題を抱えており、いまだ理想的な圃場といえる状態になっていない。

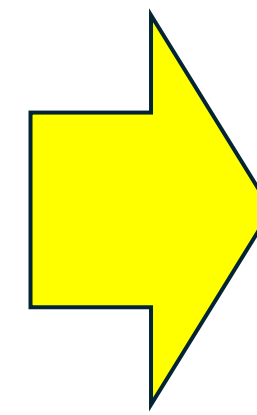
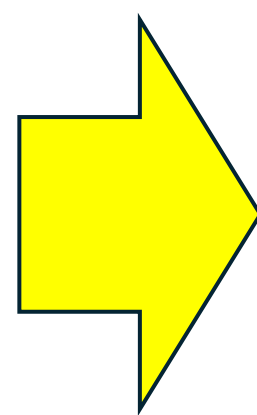
- 雨天時に圃場が一面池のようになるほど排水性が乏しい。客土や排水整備等の圃場改良をしながら農作物の栽培を行っている。
- 土地がやせており、十分な地力がないため規格外の野菜が発生し、農作物の廃棄につながっている。

取組内容と結果・みどり戦略との関連

【実践1】廃棄から再利用へ～生産残渣や食品廃棄物を再利用した圃場改良～

みどり戦略1（3）資源のリユース・リサイクルに向けた体制構築・技術開発

生産残渣を土壌改良材や肥料として圃場に投入（図1）



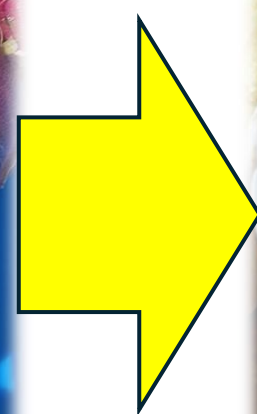
（図1）堆肥枠で堆肥化させた生産残渣を圃場に投入した

【実践2】廃棄から有効利用へ ～規格外の農作物の有効利用～

みどり戦略4（1）食品ロスの削減など持続可能な消費の拡大

①規格外のサツマイモを利用したスイートポテトの製造（図2）

②規格外の切花アスターを利用したフラワーアレンジメント制作（図3）



（図2）形のよくないサツマイモを利用してスイートポテトを製造した

（図3）規格外の切花アスターを利用したアレンジメント